
ボカロ 小説版 ~悪のシリーズ~

Lily

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ボカロ 小説版 〱 悪のシリーズ 〱

【Nコード】

N92590

【作者名】

Lily

【あらすじ】

悪のシリーズの二次創作です！

少しストーリーが違ふところもあるかと思いますが、そこはアレンジしたとも思っというくらいはい（汗）

プロローグ

むかしむかしあるところに

悪逆非道の王国の

頂点に君臨している

それはそれは美しく

可憐な王女様がいました。

ですが

外見とは裏腹に

とてもひどい王女だったのです。

お金がなくなれば愚民どもから取り上げ

すべて自分のために使いました。

そんな王国の1つのお話…。

すみません。

おはにちばんは。（おはよう、こんにちは、こんばんは）

作者のLiilyです。

ボカロを知らない方は

読んでもストーリーは普通にわかるんですが、

ボカロを知ってる方だと

「こんなのちがーう！」

「歌と違っじゃない！」

みたいな声が聞こえそうでとても怖いのです…

ですので、もしストーリーが違ってたら

そこはリーヤがアレンジしたとでも思っとてくらはいい。

では？

序章 悪の王女

「レン、今日のおやつは何なの？」

「今日のおやつはバームクーヘンでございます」

「ふーん…。今日はブリオッシュっていう気分なのにな」

「……すみません、お嬢様。今すぐ作り直させます」

「それに、どうして今日はお茶なのよ…」

「……民衆たちのお金が無くなっています。たまにはお嬢様も…」

「なによなによ！あたしに命令するの！？気分が悪いわ。今すぐ下がってちょうだい」

「お嬢様…」

「下がらないさいー!!」

「……かしこまりました」

はあ…

またか…

今日もリンは機嫌が悪い

僕たちは双子

僕らのお母さんは僕らが小さいときに亡くなった

だから、どちらかが跡継ぎとして頂点に立たなければいかなかった

そして選ばれたのが

僕の双子の可愛い姉

リン

大人たちに引き離され、リンはお城で缶詰め状態
僕はお父さんと一緒に暮らしていた

それから数年がたち、僕は父さんに言った

「僕、姉さんのところに行ってくるよ」

「…レン」

「大丈夫だよ。姉さんを連れて必ず戻ってくるよ。」

「絶対だな？」

「約束する」

僕はまだこの時知らなかったんだ

この約束が守れないだなんて…

序章 2 リンside

「レン！」

「リン！」

「嫌だ！離してよ！レンの傍にいたいよ！！王女なんかなりたくないよー…」

……ガバツ！

「いやああああ！はあ…はあ…」

バタバタバタバタ！！

「お嬢様！どうされましたか！？」

召使いのレンがあたしに問いかける

…レン

あなたは遠い記憶過ぎて覚えていないかもしれないけど

あたしたち、双子なんだよ

あたしはあなたのお姉ちゃんなんだよ…

「…レン」

「え…リン…お嬢様？」

今あなたはなんて言いかけた？

「レン…。あなたが一番大切よ…」

「…お嬢様」

「お嬢様なんて呼ばないでよ…」

今まで苦勞をしてきた分の思いが溢れて止まらない

「レン…レン…」

「リン」

え……？

今あなたはなんて言った？

それはあたしがあなたに望んでいた言葉だった？

「リン…、僕だってリンが一番大切だよ。だってたった1人の…」

“お姉ちゃんなんだから”

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9259o/>

ボカロ 小説版 ～悪のシリーズ～

2010年11月19日22時19分発行